

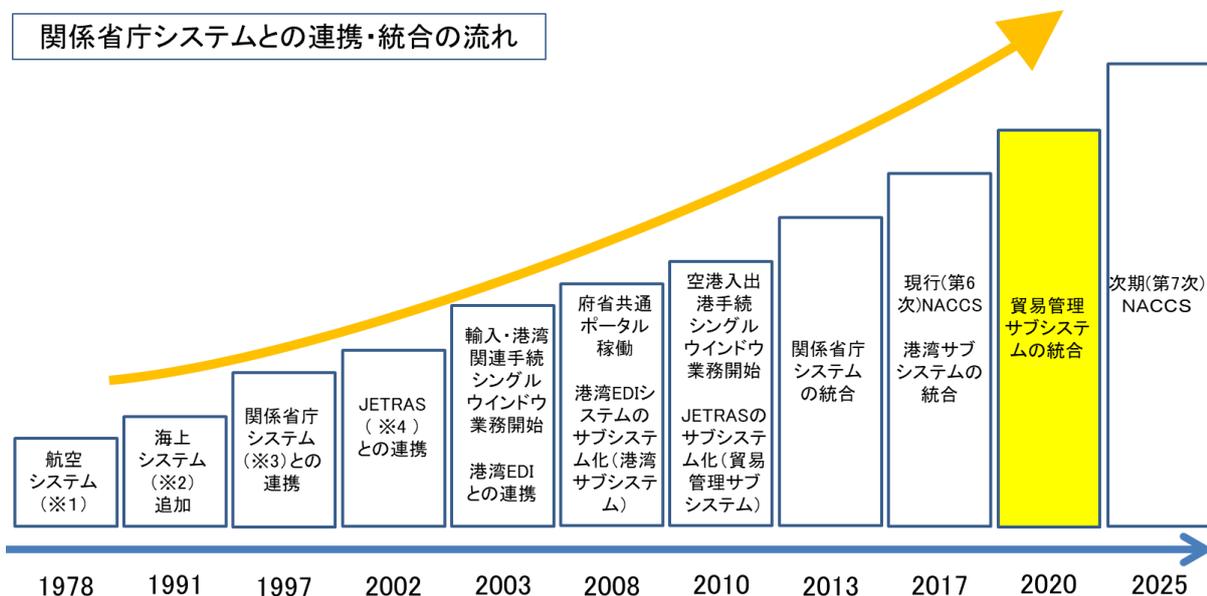
貿易管理サブシステムがNACCSに統合されました

貿易管理サブシステムが2020年6月21日（日）午前5時にNACCSに統合されました。

貿易管理サブシステムは、外国為替及び外国貿易法に基づく経済産業省・水産庁への輸出入許可・承認等申請と、税関への輸出入申告時のライセンスの裏書情報の登録を処理するためのシステムで、2010年にサブシステム化しました。

当該サブシステムが統合されたことにより、NACCSが1997年から推し進めてきました関係省庁システムとの連携・統合が完成しました。

関係省庁システムとの連携・統合の流れ



※1 航空貨物通関情報処理システム

※2 海上貨物通関情報処理システム

※3 関係省庁システム: 厚生労働省輸入食品監視支援システム(FAINS)、  
農林水産省輸入植物検査手続電算処理システム(PQ-NETWORK)、動物検疫検査手続電算処理システム(ANIPAS)

※4 JETRAS: 経済産業省貿易管理オープンネットワークシステム

■NACCSに統合されたことによる具体的効果

- ◆データベース等の資源がNACCSに統合されたことから、輸出入申告等において業務上必要な電子ライセン斯拉関係のチェックが可能となりました。
- ◆NACCSのバックアップセンター機能が使用可能となり、信頼性が向上しました。
- ◆定期保守によるシステム停止が、NACCSに合わせ年間6回になりました(貿易管理サブシステムは年間12回)。

本件に係る問合せ先

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

システム企画部 調整課

E-mail: bousabu@naccs.jp